

岩手県職労

月2回刊=1494号
 2017年10月15日 発行
 発行日 毎月15日30日
 発行所
 盛岡市内丸10番1号
 岩手県庁内
 岩手県職員労働組合
 印刷所
 盛岡市上田二丁目17-4
 有限会社 ジロー印刷企画
 一部 40円
 組合員購読料は組合費に含む

地公共闘・10.2熊谷人事委員長交渉

国水準下回るが、4年連続の賃上げか

専門職処遇改善・諸手当改善は継続課題へ

勤務時間管理・要員確保の対策強化を

岩手県地方公務員共闘会議は、10月2日、最終局面となる熊谷人事委員長と交渉を行った。130人からなる県庁入り込み交渉支援を配置し、前進回答を強く求めた。交渉では、国水準を下回るも4年連続の月例給・一時金引上げに向け検討中との前進回答を出した。しかし専門職の処遇改善や諸手当改善は継続課題となった。交渉では依然具体内容が示されなかったため、交渉団から改善勧告を重ねて要請した。

①勧告日・給与改定

勧告日を10月13日としたうえで、国家公務員の較差より小さくなると見込まれるが、月例給は給与改定、一時金は引上げの方向で具体的に検討を進めているとした。また較差全てを改定に充当することも確認した。

②高齢層職員の処遇改善

事務局長交渉と同様、給与制度の総合的見直しの現給保障対象者の推移を注視するとの見解にとどまったことから、具体的な改善策の検討を強く求めた。

③専門職種の処遇改善

獣医師は全国的課題では困難とし、再考を求めた。

④諸手当改善

通勤手当は、昨年に交通



▲改善勧告を求める地公共闘交渉団



▲回答する熊谷人事委員長（中央）



▲2次集約された大型ハガキ署名を手渡す佐藤地公議長（左）



▲当面する闘争方針などを決めた県本部大会

9月30日、盛岡市で開催され、県職労から代議員18人が参加した。開会に当たり、野中県本部委員長は「今般自治労本部から組織基盤強化の重点支援本部の指定を受けた。7000人県本部への回復をめざし、全力を挙げる。賃金確定闘争に向け県人勧闘争が佳境。更に退職手当引下げ阻止も重要な課題。総力を挙げて確定闘争に勝利しよう。安倍政権の横暴を許さず、衆議院選勝利に全力を」とあいさつ。

その後、伊藤書記長から、最後に役員選挙が行われ、



▲新たに副委員長に選出された佐藤伸一さん

野中靖志執行委員長、小野演彦副委員長をはじめ、県職労派遣の執行部は全員が再任された。

現政権以上に危険な勢力だ。旋風に惑わされると取り返しがつかないことになり、のり明らか▼安倍や小池の劇場型政治ではなく、生活者の視点に立った政治に取り戻すことが重要だ。憲法理念を活かした社会への転換をめざし、10月の政治決戦では私たち一人一人の賢明な選択が求められる。

自治労岩手県本部第49回定期大会 当面の闘争方針など確認決定

佐藤伸一さん（県職労）を新たに副委員長に選出

機関の大幅な見直しをしており、連続しての改正は困難との見解を示しつつ、要事項のうち他県動向を踏まえ検討の余地がある項目

（距離区分の新設）があるとし、委員会で検討するとした。

住居手当は沿岸部の家賃高騰の問題を認識しつつ



▲遠距離通勤等の実態と改善を訴える県職労・小野委員長



▲獣医師等の処遇改善を訴える県職労・小原書記次長

早期解消を改めて要請した。

⑥休暇制度の拡充
両立支援は重要として、不妊治療への支援は人事院報告を踏まえて、国・



▲シュプレヒコールで交渉団を支援（県庁内フロア）

⑦県人勧の課題
4年連続の賃金引上げの見通しを引き出したことは大きな前進であるも、諸手当改善などの継続課題は前進回答がなく、不満が残る結果となった。地公共闘は県人勧を分析し、確定闘争に向け当局交渉に向け全力を挙げる。組合員の結集をお願いする。

⑧長時間労働は正策
人事院も実効力ある方法の検討が必要と言及しており、委員会最終的に判断するとの姿勢にとどまった。交渉団からは勤務時間の適正管理職場の要員確保など実効力ある対策を求めた。

先のことなど
わからない...

「今のごときで一杯、退職後のことなど考えられない」だからこそ、今から始めておきませんか？ 将来のあなた自身へのプレゼント。

◆お問い合わせ・申し込みは組合へ

じちろうの長期共済

全労協 自治労共済本部

他県の動向を注視し、適正に検討するとした。

収穫の秋本番だ。夏の日照不足が心配されたが、秋晴れもあり何とか平年並みに落ち着きそうだ。日中は仕事に明け暮れ、土日は農作業という方も少なくない。秋は一年でも忙しい季節だ▼この時期に衆議院選挙とは安倍首相は地方の大変さを理解しているのか疑問を持つ方も少なくないだろう。確定闘争にも暗い影が。4年連続の賃上げの見通しとなったが、またお預けとなるのではと不安視する見方も。国の給与法の改正時期が不透明であり、2年前のように差額支給が遅れるのではと困惑の状況だ。安倍首相の身勝手な解散で労働者をはじめ多くの国民が迷惑を受ける▼さらに某都知事の台頭で折角創り上げた野党共闘の枠組みも縮小を余儀なくされた。某都知事は保守・改憲を掲げ、候補者の思想分析をするなど、現政権以上に危険な勢力だ。旋風に惑わされると取り返しがつかないことになり、のり明らか▼安倍や小池の劇場型政治ではなく、生活者の視点に立った政治に取り戻すことが重要だ。憲法理念を活かした社会への転換をめざし、10月の政治決戦では私たち一人一人の賢明な選択が求められる。

県南広域振興局所属4支部

合同で要求書を提出し局長交渉実施

回答は11月中旬、今後は各支部で交渉積み重ねへ

県南広域振興局所属の4支部(須賀花巻支部長・佐藤北上支部長・藤村胆江支部長)は、5日、細川倫史県南広域振興局長に対し、4支部合同で要求書を提出し、局長交渉を実施した。

4支部は今年7月に組合員アンケートを実施したところ、「広域局の統括的業務があえて設けられていない」「書類搬送等で決裁に時間を要する」等の県南局特有の課題が多く



▲4支部合同での細川・県南広域振興局長(左手前中央)との交渉



▲4支部合同の要求書を手渡す藤村・胆江支部長

「要求書を受け取った局長からは、「広域体制の変更の局長交渉を実施し、要求書を手交した。」

寄せられた。また、欠員や超勤手当算の不足等への声も非常に多く出されたことから、回答結果を踏まえて要求書を整理し、局長交渉を実施した。

や賃金・欠員等は本庁の対応も踏まえた上で対応したい」との見解に止めたものの、欠員や超勤手当不足の実態については、「欠員解消や超勤に見合う手当支給は当然であり、要求以前の課題」との問題認識を示す

など、組合側の要求内容に理解を示す場面もあった。要求書への回答は11月中旬に予定されている。今後は各支部単位で福利厚生面を中心とした支部交渉を実施することとしている。

安倍改憲ストップ！社民党勝利！県民総決起集会！

平和と民主主義の復権を

緊急集会とデモでアピール

衆議院総選挙目前の10月7日、「安倍改憲STOP P！社民党勝利！県民総決起集会」が盛岡市で開催され、500人を超える市民が結集した。開会に当たり、社民党連合代表・小

西和子県議会議長が「森友・加計疑惑隠し、違憲を繰り返す安倍暴走政治、さらには新たな保守政党を許さず、平和な社会を後世に残すために衆院選を果敢に闘おう」とあいさつ。

の危機を自ら煽るものと批判した。さらに、希望の党を含め、改憲に突き進む保守二大政党を阻止し、社民党を柱とする野党共闘が勝利する必要があるとし、社民党の支持拡大を訴えた。

方針として掲げる、①平和憲法擁護、②労働者・生活者の暮らしの改善、③共生社会の実現などを公約に掲げているほか、④地方公務員の処遇改善に向け精力的に活動してきた経緯がある。

社民党は地方公務員の賃金・人員削減合理化に反対するとともに、本年5月に成立した臨時・非常勤職員処遇改善を柱とする改正地方公務員法の成立に当たって、又市征治幹事長が「臨時非常勤職員の処遇改善は当然だが、常勤職員を基本とする公務運営の原則堅持を」と訴え、政府側も「常勤職員による公務運営は原則」との答弁を引き出している。私たち地方公務員の処遇改善に一番熱心なのは「社民党」。平和で安心した暮らしの実現のため「社民党」への支持をお願いします。

県政推進のための人材確保を

10・4 9月定例県議会・小西県議が一般質問

9月定例県議会が開催されているなか、県議会でも県職員を取り巻く諸課題について論戦が交わされた。

10月4日の一般質問には、県職労推薦議員の小西和子県議(社民党県連代表)が登壇し、職員の人員確保対策等について当局を質した。主な質疑と答弁の概要は次のとおり。当局は現状認識にとどまり、具体的な改善策が不十分だ。確定闘争課題とも関連しており、来たる確定闘争で改善

を強く求めていく。【災害発生を想定した人員体制の確保、欠員解消策】(小西県議) 今後の災害発生を想定しつつ、業務を円滑に遂行できる人員体制を確保すべき。欠員解消策は、(知事) 施策の優先度を見極め、重要課題に人的資源を配分し、成果を挙げる視点も必要。多様な方策により人材確保に取り組み、知事部局では震災体制前からの400人程度の増員をした。新たな行政課題に柔軟



【専門職種の処遇改善】(小西県議) 獣医師をはじめ専門職員の処遇改善策は、(総務部長) 確保策は重要と認識。処遇面の改善、獣

医師の業務PR、通年の随時募集をしてきており、所管部局と連携して対応する。【職員のワークライフバランスの推進】(小西県議) 知事のリーダーシップにより推進強化を。

(知事) 育児休業や介護休暇を取得しやすい職場環境の整備、男性職員の育児休業等の取得促進に努めている。また所属の実情に応じた働き方の見直しに取り組んでいる。超勤削減、育児休暇等取得しやすい環境づくりを努め、職員の健康保持、仕事と生活の両立に向け取り組む。

【比例区・社民を推へ】県職労は比例区で社民党を推薦決定し、比例東北ブロックでの議席確保をめざして組合員への支持浸透に全力を挙げる。社民党は、県職労が運動

社民党は地方公務員の賃金・人員削減合理化に反対するとともに、本年5月に成立した臨時・非常勤職員処遇改善を柱とする改正地方公務員法の成立に当たって、又市征治幹事長が「臨時非常勤職員の処遇改善は当然だが、常勤職員を基本とする公務運営の原則堅持を」と訴え、政府側も「常勤職員による公務運営は原則」との答弁を引き出している。私たち地方公務員の処遇改善に一番熱心なのは「社民党」。平和で安心した暮らしの実現のため「社民党」への支持をお願いします。

9月定例県議会が開催されているなか、県議会でも県職員を取り巻く諸課題について論戦が交わされた。

10月4日の一般質問には、県職労推薦議員の小西和子県議(社民党県連代表)が登壇し、職員の人員確保対策等について当局を質した。主な質疑と答弁の概要は次のとおり。当局は現状認識にとどまり、具体的な改善策が不十分だ。確定闘争課題とも関連しており、来たる確定闘争で改善

を強く求めていく。【災害発生を想定した人員体制の確保、欠員解消策】(小西県議) 今後の災害発生を想定しつつ、業務を円滑に遂行できる人員体制を確保すべき。欠員解消策は、(知事) 施策の優先度を見極め、重要課題に人的資源を配分し、成果を挙げる視点も必要。多様な方策により人材確保に取り組み、知事部局では震災体制前からの400人程度の増員をした。新たな行政課題に柔軟

【専門職種の処遇改善】(小西県議) 獣医師をはじめ専門職員の処遇改善策は、(総務部長) 確保策は重要と認識。処遇面の改善、獣



▲菅野哲雄元衆議院議員の講演



▲安倍暴走政治を許さぬ...市内をデモ行進

社民党は地方公務員の賃金・人員削減合理化に反対するとともに、本年5月に成立した臨時・非常勤職員処遇改善を柱とする改正地方公務員法の成立に当たって、又市征治幹事長が「臨時非常勤職員の処遇改善は当然だが、常勤職員を基本とする公務運営の原則堅持を」と訴え、政府側も「常勤職員による公務運営は原則」との答弁を引き出している。私たち地方公務員の処遇改善に一番熱心なのは「社民党」。平和で安心した暮らしの実現のため「社民党」への支持をお願いします。



▲関支部で学習会開催

9月28日、県職労は、一関支部保健所分会の獣医師と獣医師確保のための意見交換を行った。会議では、8月25日に開催した労働条件改善会議の資料を基に、他県との待遇の違いついて学習した。参加者の意見交換では、「野良犬の通報があり土日の対応もある。現地での対応は2時間位だが、出勤時間もかかるため4〜5時間対応している。これは課長も獣医師なので、調整しながら対応しているが、一人のところは大変だと思う」「賃金が低いため獣医師は評価されていないと思ってしまふ」などが出された。また、獣医師だけでなく専門職は、薬剤師、保健師も忙しそうであり同様の課題もあるのではとの声が出された。県職労は、現場の声を当局に届け、当局へ手当改善等の処遇改善を求め、取り組みを強化する。

組合員だけでなく、配偶者、子どもも一緒に加入できます。

家族も安心、みな安心

ちろろの団体生命共済 自治労共済本部

詳しくは所属する組合まで

一関市議会議員選挙

千葉のぶよしさん当選

2期目へ新たな決意
9月24日告示・10月1日
投票の1関市議選(定数30人、立候補者32人)では、県職労推薦候補の「千葉のぶよし」(58歳・現1期・社民党公認・国労出身)は1、690票を獲得し、見事当選を果たした。



▲支持者から花束を贈られ喜びの千葉さん

千葉のぶよしさんは「市街地活性化、教職員の多忙化解消、公共交通機関の維持をはじめ、生活者・労働者の視点に立って活動してきた。平和を守り、住民の声を丁寧に聞きながら、暮らしやすい街づくりの実現に向け活動していく」との2期目の決意を表明しました。

の違いついて学習した。参加者の意見交換では、「野良犬の通報があり土日の対応もある。現地での対応は2時間位だが、出勤時間もかかるため4〜5時間対応している。これは課長も獣医師なので、調整しながら対応しているが、一人のところは大変だと思う」「賃金が低いため獣医師は評価されていないと思ってしまふ」などが出された。また、獣医師だけでなく専門職は、薬剤師、保健師も忙しそうであり同様の課題もあるのではとの声が出された。県職労は、現場の声を当局に届け、当局へ手当改善等の処遇改善を求め、取り組みを強化する。

組合員だけでなく、配偶者、子どもも一緒に加入できます。

家族も安心、みな安心

ちろろの団体生命共済 自治労共済本部

詳しくは所属する組合まで